

チャレンジ!

# お菓子の 株式会社

GUIDEBOOK

- 指導用ガイドブック -

金融経済教育推進機構

# CONTENTS

-もくじ-

使用する教材 ..... 1  
 学習の展開 ..... 2

## 会社のしくみを知ろう

01 私たちの身近にある会社 ..... 3  
 02 会社はどんなことをしているのかな ..... 4  
 03 会社はどんなことにお金を使っているの ..... 5  
 04 会社はどうやってお金を集めるのかな ..... 6  
 05 株式会社のしくみを知ろう ..... 7

## 新商品を売り出そう

【ワーク01】新商品のおかしを開発しよう ..... 8  
 【ワーク02】株式を出して、新商品を作るお金を集めよう ..... 10  
 今日学んだことをまとめてみよう ..... 13

## 授業の前に準備しておくこと

### 1. 班で社長と会社名を話し合ってもらおう (本テキスト P.9 上段を参照)

グループワークの最初に、班ごとに会社の社長と会社名を決めますが、ここで手が止まってしまうケースが多いため、事前に班で、社長役と会社の名前を決めておいてもらえるよう先生にお願いをしておくと、ワークがスムーズに進行できます。

### 2. 休憩のタイミング・時間を相談しておく

授業が2コマ(90分)になるため、途中で休憩をはさむようお願いされることが多いようです。事前にどのタイミングで、どのくらいの時間を休憩にあてるのが良いか、先生とすり合わせておくことと進行のサポートをいただけます。

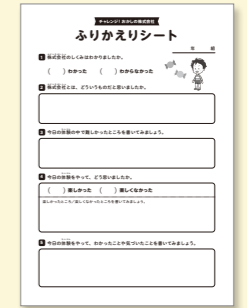
### DVD教材(1点)



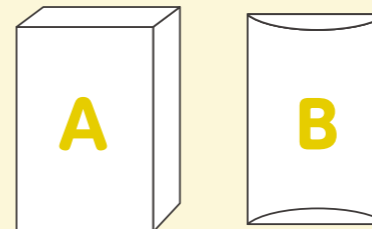
### 児童用ワークブック(1人1冊)



### ふりかえりシート(1人1枚)



### パッケージ(1班1点)



箱タイプ:A

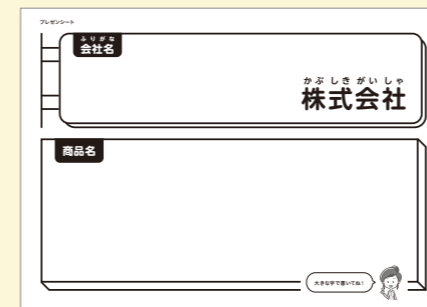
箱タイプ:B

※班ごとにA、Bのどちらかを選択

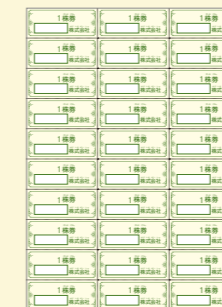
### パッケージ用シール(1班1枚)



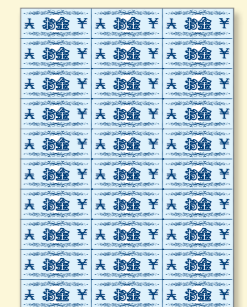
### 会社名・商品名シート(1班1枚)



### 株券シート(1班1枚)



### お金券(切り離して1人2枚配布)



### 3. お金券の切り離し (本テキスト P.10 上段を参照)

お金券を児童数×2、切り離して準備しておく(2枚くっついた状態の方が配付しやすい)。



### 4. 目標金額の設定 (本テキスト P.10 下段を参照)

参加児童数と班の数から、投資の目標額を計算しておく。



$$\text{目標金額} = \text{クラスの人数(出席者)} \times 200\text{万円} \div \text{班の数} \times 60\%$$

※10万円以下は切り捨てとなります。

## 学習の展開 (90 分)

段階	時間	活動	学習内容	使用教材
 <b>会社のしくみを知ろう</b> (18分)	2分	本時の課題の提示	今日の授業でやることと目標の提示	ワークブックP.1
	6:18	DVDの視聴	DVD「会社って何」を視聴	DVD
	2分	説明	ワークブックP.2～3を説明	ワークブックP.2～3
	6:04	DVDの視聴	DVD「株式会社のおもしろさ」を視聴	DVD
	1分	説明	ワークブックP.4～5を説明	ワークブックP.4～5
 <b>新商品を売り出そう</b> 【ワーク01】 (39分)	3分	ワークの指示	ワークブックP.6～7を使い、ワーク01とワーク02の概要を理解させ、ワーク01の作業内容を指示する	ワークブックP.6～7
	16分	グループワーク	①会社名を決め、新商品のおかしを考えよう 班でワークブックP.8～9を見ながら新商品のアイデアを考える	ワークブックP.8～9
	15分	グループワーク	②お菓子のパッケージを作ろう 班でお菓子のパッケージを作成する	パッケージ パッケージ用シール
	5分	グループワーク	③新商品発表シートを完成させよう 班でP.9の新商品発表シートを完成させ、発表の準備をする	ワークブックP.9 会社名・商品名シート
 <b>新商品を売り出そう</b> 【ワーク02】 (30分)	5分	グループワーク	①株券を用意しよう 自分の会社の株式を用意し、集めたい目標金額を決める	株券シート お金券 ワークブックP.10
	2:05	DVDの視聴	DVD「発表の仕方」を視聴	DVD
	2分	個人ワーク	評価表の準備	ワークブックP.11
	15分	グループワーク	②新商品をアピールして、お金を出してくれる人を集めよう 順番に発表を行う(1班1分程度)	ワークブックP.9 パッケージ
		個人ワーク	③発表を聞いて、応援したい会社を決めよう 発表を聞いて、ワークブックP.11の評価表に評価を記入する。投資する会社を決定する	ワークブックP.11
	4分	個人ワーク	④応援したい会社に投資しよう 会社にお金を渡し、株式をもらう	株券シート お金券
	2分	グループワーク	⑤自分の会社を集めたお金を計算しよう お金を計算し、ワークブックP.12に金額を記入する	ワークブックP.12
振り返り (3分)	2:48	DVDの視聴	DVD「今日学んだこと」を視聴し、今日学んだことを振り返る	DVD ワークブックP.13 ふりかえりシート

## 会社のしくみを知ろう

ワークの前提となる知識を児童に伝えます。  
小学生にはやや難しい内容も含まれますので、  
児童の反応を見ながら丁寧に進行してください。

### 01 私たちの身近にある会社

発話例

児童に、今日の授業でやることと、学習の目標を明示します。今日学ぶ内容が、自分たちの生活に密接に関係していることを意識させ、学習内容への興味関心が高まるよう、進行してください。

本時の課題の提示

2分

今日は、「株式会社」について学んでいこうと思います。  
株式会社とは何かを理解してもらうために、みなさんにはお菓子の新商品を考えて発表してもらい、会社を運営してもらいます。班で協力して、楽しく学んでいきましょう。



ワークブックの P.1 を見てください。

みなさんの生活の中での様々な場面がイラストに描かれています。  
お店に買い物に行ったり、街で気になるものをながめたり、家の中で楽しんでいる様子が描かれていますね。これらの場面に登場している商品やサービスは**会社**が提供しています。

(例えていくつか実際の会社名を挙げてみる)  
例えば、〇〇をつくっている会社だと、△△(会社名)や□□(会社名)がありますね。

私たちは、会社が提供しているいろいろな商品やサービスを利用して生活しています。

ワークブック P.1

#### 会社のしくみを知ろう

##### 01 私たちの身近にある会社

ふだんなんとなく使っているものやサービス、おうちの人と買い物に行った場所や買ったもの、お店や家で使っているものなど、身のまわりの多くが会社によってつくられて、私たちにはんめされています。



#### POINT

時間に余裕がある場合は、例示の代わりに児童への問いかけを実施してもよい。

例えば、お菓子をつくっている会社で思い浮かぶものはありますか？  
(挙手を促す)  
そうですね、それ以外にも◎◎や▽▽という会社もお菓子の会社です。  
(上記の質問以外にも、地域の特性に合わせた質問をしてもよい)

## 02 会社はどんなことをしているのかな

## 03 会社はどんなことにお金を使っているの

会社の社会的な役割、会社が活動を行うためにはたくさんの「お金」が必要であることを理解させます。資金調達というワークの動機づけになりますので、しっかりと理解させることが大切です。

DVDの  
視聴

7分



ワークブック P.2 と P.3 を見てください。  
「会社はどんなことをしているのかな」、「会社はどんなことにお金を使っているの」、とあります。ここで DVD を見てみましょう。みなさんと同じ小学生が、会社について考えるアニメーションです。



DVD「会社って何」を再生 (6:18)

説明

1分



DVD で分かったことを整理してみましょう。  
P.2 を見てください。

会社は、世の中の人たちが必要とする、または欲しい商品やサービスを提供することで、世の中を便利で楽しいものにする、そんな役割を持っています。

そして、会社が活動するために必要なものとして、DVD でお母さんが「人・モノ・お金」の3つをあげていました。

### ワークブック P.2

**02 会社はどんなことをしているのかな**

会社は、世の中の人たちが必要とする、または欲しい商品やサービスを提供することで、世の中を便利で楽しいものにする、そんな役割を持っています。

世の中を便利で楽しいものにする、そんな役割を持っています。

会社の活動に必要なもの

人	モノ	お金
会社で活動するために必要な人です。	商品をつくるための工場や機械、商品の材料などが会社で必要です。	会社の活動を続けていくためには、たくさんのお金が必要になります。

### ワークブック P.3

**03 会社はどんなことにお金を使っているの**

工場などで新しい機械を買ったりします。

働いている社員の給料を支払います。

商品をつくるためには、たくさんのお金が必要なんです。

商品を宣伝するための広告にもお金がかかります。

例えば、インターネット、ポスターなどで商品も宣伝します。

SDGs について知っていますか？

SDGsは、世界のみんなが力を合わせて、世の中をよりよくしていくための目標です。2030年までに達成しようという目標です。目標が達成されると、みんなが豊かになり、地球もよくなります。みんなが豊かになり、地球もよくなる。みんなが豊かになり、地球もよくなる。みんなが豊かになり、地球もよくなる。

それでは P.3 を見てください。

会社がお金を使っている例が書かれています。工場や機械などの**設備**、商品の**材料**、働いている人の**給料**、コマーシャルなどの**広告**、その他最近では、**社会貢献活動**にもお金が使われています。

P.3 の下に「SDGs」のお話載っています。会社は、地球全体のことを考えた SDGs の活動にも積極的に取り組まなければなりません。

このように会社は、本当にたくさんのお金を必要としているのです。

## DVD を利用しない場合の発話例

説明

4分

世の中には実にたくさんの会社があります。ワークブックの P.2 を見てください。

クルマやテレビ、スマートフォンのような機械を作る会社、お菓子や飲み物、薬、洋服からトイレトーパーまで生活で使うものを作る会社、電車やバス、宅配便みたいに人やモノを運ぶ会社、ビルや家、橋や道路を作る会社、ゲームや映画、テレビ番組やマンガや本を作っている会社、スーパーやコンビニといったものを売る会社もありますね。



これらの会社がつくっている商品やサービスは全て私達の生活に必要なものや生活を便利で楽しくしてくれるものです。会社で働く人たちが、それぞれ一生懸命に工夫して商品をつくり、サービスを提供したりすることで私たちの暮らしや社会は豊かになっているのです。また、会社は商品やサービスを提供することで利益を生み出しています。

では、会社がそのような活動をするためには、何が必要でしょうか。一般的に会社の経営に必要なものは「人・モノ・お金」と言われています。「人」は、会社で働く社員です。社長1人の会社から何万人という社員のいる会社までいろいろな規模の会社があります。次の「モノ」というのは、会社で売る商品や商品を作る機械、そういった会社の活動に必要なものすべてを指しています。最後が「お金」です。会社が活動するには、たくさんのお金が必要です。

P.3 を見てください。「会社はどんなことにお金を使っているの」とあります。今日は、みなさんにお菓子の会社を経営してもらいますので、お菓子会社をイメージして会社が主にどんなことにお金を使っているのかを挙げてみます。

まず商品をつくるためには工場や機械などの**設備**が必要です。商品の**材料**の小麦粉や砂糖なども買わなければなりません。工場や会社で働く社員のお給料も毎月必要ですし、商品を宣伝するための**広告**にもお金がかかります。最近では、会社は環境を良くするなど社会の役に立つ**社会貢献活動**も積極的に行っています。

下のコラムに「SDGs」のことが書いてあります。このSDGsの取り組みに力を入れる会社もどんどん増えてきています。このような地球全体のことを考えた活動にもお金が必要になってきます。

# 04 会社はどうやってお金を集めるのかな

## 05 株式会社のしくみを知ろう

会社が資金を調達する方法として「株式」があることを教えます。ワーク 02 で児童が体験する「株式投資」の前提となる知識です。

DVDの  
視聴

6分

ワークブック P.4 を見てください。  
「会社はどうやってお金を集めるのかな」とあります。  
会社はどうやってお金を手に入れているのか DVD を見てみましょう。

DVD「株式会社のしくみ」を再生 (6:04)

説明

1分

DVD で分かったことを整理してみましょう。  
P.4 を見てください。  
会社がお金を集める方法として2つが紹介されていました。

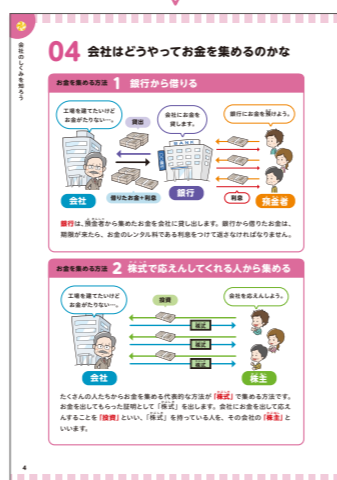
1つ目は「銀行から借りる」方法。  
借りたお金は期限がきたら返さなくてはならないし、利息というお金のレンタル料金も払わなければなりません。

2つ目は、「株式で応援してくれる人から集める」方法でした。  
世の中の人たちからお金を集める代表的な方法が「株式」です。会社を応援してくれる人からお金をもらって、その証明書として「株式」を渡すというやり方です。  
会社の株式を持っている人を「株主」といいます。

P.5 を見てください。  
このように「株式」でお金を集めて活動している会社を「株式会社」といいます。  
日本の会社の多くが株式会社です。株式会社のしくみは、このページの1から4のようになっています。  
まず、お金を必要としている会社が、人々に呼びかけて投資をしてもらいます。  
集まったお金で新しい商品を作り、販売します。  
新商品が売れて、利益ができました。  
利益のうちの一部を、お礼として応援してくれた株主へ支払うことができます。これを「配当」といいます。

このように株式のしくみを使うことで会社は、多くのお金を手に入れ、活動を行うことができるのです。

### ワークブック P.4



### ワークブック P.5



## DVD を利用しない場合の発話例

説明

4分

それでは、ワークブック P.4 を開いてください。  
新しく会社を始めるときや新商品を作るためにとてもたくさんのお金が必要になることがあります。そんなとき会社はどうやってお金を集めているのでしょうか？  
会社がお金を集める方法は、大きく2つあります。

1つ目は「銀行から借りる」方法です。  
会社の社長が「工場を建てたいけどお金が足りない」と困っています。この社長は銀行からお金を借りることにしました。  
銀行から借りたお金は、期限がきたら返さなければなりません。さらに借りたお金の他に、「利息」とよばれるお金のレンタル料金も支払う必要があります。  
銀行が会社に貸し出すお金は、銀行のものではなく、預金者から預かっているお金です。もし返してもらえなければ大変なことになりますから、銀行はその会社が本当に信用できるのか慎重に調べて、お金を貸し出しています。

2つ目は、「株式で応援してくれる人から集める」方法です。世の中の人たちからお金を集める代表的な方法が「株式」です。  
お金を出してもらった証明として、お金と引き換えに「株式」を出します。会社の株式を持っている人を「株主」といいます。

もう少し詳しく「株式」のしくみを説明しましょう。P.5 の4コマを見てください。

1コマ目では、会社の人「新商品をつくりたいので、お金を集めてください」と世の中の人々にお願いしています。会社を応援したいという人が集まって、「がんばれ」といいながらお金を会社に渡していますね。会社は、お金をしてくれた証明書として「株式」を渡します。  
2コマ目、株式によってたくさんのお金が集まったので、会社は機械や材料を購入し新商品を作ることができました。  
3コマ目、新商品が売れて会社は利益を得ました。  
4コマ目、会社は利益の一部を株主へお礼として支払うことができます。これを「配当」といいます。株主は、株式を持っている間、会社から配当を受け取れます。(利益が出ないときなどは、配当が出ない場合もあります。)

この「株式」のしくみを使って活動をしている会社を「株式会社」といいます。日本の会社の多くが株式会社なのです。

